



# 鶏種の特性を知り、経営判断に活かす

## 鶏種性能を比較する

採卵鶏の生産成績は育種改良技術により向上しており、鶏種別シェア（全農推定値）は、ジュリア約30%・ジュリアライト約30%、マリア約10%、ボリスブラウン約25%、その他5%となっている。

全農飼料畜産中央研究所 養鶏研究室

### 国内主要鶏の種類

群馬県で2月に報告された鶏種性能比較から、国内主要鶏種である白玉鶏のジュリア（以下JL）、ジュリアライト（以下JLL）、マリア（以下MA）、ピンク卵鶏のソニア（以下SO）、赤玉鶏のボリスブラウン（以下BB）の飼養成績を解析する。

### 生産成績比較

#### ●50%産卵日齢

産卵立ち上がりの目安となる、50%産卵日齢では、MA=JL≥JLL>SO>BBであった（表）。卵殻色が濃い鶏種で産卵立ち上がり早い傾向にあった。

#### ●試験通期での産卵成績

HD産卵率（延べ産卵個数／延べ残存羽数×100、図1）は、JLL>JL>SO>BB>MAで、JLとJLLの成績は良かったが、BBとMAは産卵期間後半で著しく産卵率が低下する傾向にあった。同一飼料を給与しているため、BBやMAはJLやJLLと比較して栄養要求が高い鶏種だと予測できる。

平均卵重はJL≥JLL>BB>MA>SOとなり産卵率の高いJL、JLLが大型の鶏卵を産卵する傾向にあった（表）。

飼料摂取量はBB>JLL≥SO>JL>MAでBBの飼料摂取量が高く、MAでは低かった。

飼料要求率は、BB>SO>MA>

JLL≥JLとなり、JL、JLLが他鶏種と比較して、生産効率が良好な結果であった。

### 卵質検査結果

#### ●卵殻強度

通期卵殻強度は、JL>SO>JLL≥BB>MAであり、JLの卵殻強度が高く（図2）、MAが低い傾向にあった。産卵初期ではJLの卵殻強度が高い傾向であった。

#### ●ハウユニット（HU）の推移

通期HUは、MA>SO>BB>JLL>JLと産卵期全般を通してMAのHUが高い傾向にあった（図3）。

JL・JLLは産卵成績や卵殻質で

は良好であったが、HUでは他鶏種と比較して低い傾向であった。また各鶏種ともに夏場による顕著なHUの低下は認められなかった。

一方、BBでは70週齢以降HUが著しく低下する傾向が見られ、産卵後半での鮮度管理の面で注意が必要と考えられた。

### 各鶏種の特性を把握する

各鶏種によってさまざまな特性を持っているが、90週齢など長期飼育の場合は生産成績及び卵質状況にはまだ課題があると考えられる。飼料畜産中央研究所では、導入サイクルを低減するため、長期飼育の飼料体系の研究を進め、生産者負担を少しでも低減させる取り組みを継続的に行っている。

鶏種特性と経営戦略をあわせて十分検討し、鶏種を選択を行う事が重要だと考えられる。

表. 生涯産卵成績（18～90週齢）

	50%産卵成績	HD産卵率	平均卵重 (g)	日卵量 (g)	飼料摂取量 (g)	飼料要求率
ジュリア	144	88.9	65.5	58.2	101.3	1.74
ジュリアライト	143	89.7	65.3	58.6	102.8	1.75
マリア	144	81.0	63.9	51.8	94.7	1.82
ソニア	142	85.3	62.6	53.4	102.3	1.92
ボリスブラウン	136	84.4	64.5	54.4	107.0	1.97

図1. 各ステージでのHD産卵率

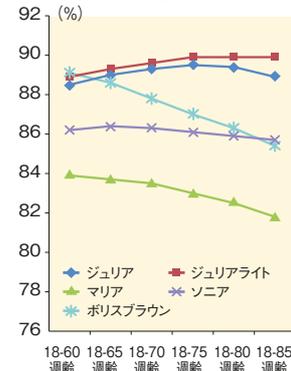


図2. 卵殻強度の推移

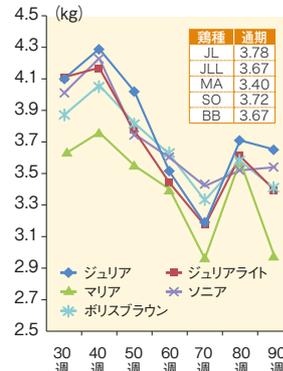


図3. HU推移

